

第54回藤沢市地産地消推進協議会及び  
令和5年度第1回藤沢市地産地消推進事業実行委員会 議事録

1 開 会

竹中補佐

それでは、定刻となりましたので、ただいまから第54回藤沢市地産地消推進協議会を開催させていただきます。

本日司会を務めます農業水産課の竹中と申します。よろしくお願いたします。

次に、会議中のご発言についてでございますが、挙手をさせていただき、事務局職員がマイクをお届けしますので、マイクを使って名前を名乗っていただいてからご発言くださいますようお願いいたします。

本日の会議につきましては、19名の協議会委員の内、14名の方が出席しております。藤沢市地産地消推進協議会規則第5条に規定する会議成立要件の過半数を超え、会議が成立しておりますことをご報告させていただきます。

また、本日ご都合により欠席の方がございますのでご報告いたします。

- ・農業経営士協議会から選出の湯澤委員
  - ・藤沢市畜産会から選出の和田委員
  - ・わいわい市藤沢店から選出の麻生委員
  - ・江の島片瀬漁業協同組合から選出の北村委員
- となっております。

なお、藤沢青年会議所から選出の山崎委員は後ほど遅れてご参加される予定になっております。

次に、本日の議題に入ります前に、まずお手元の資料の確認をさせていただきます。

- ① 次第（裏面は名簿）
- ② 資料1 第5期藤沢市地産地消推進計画の進捗状況について
- ③ 資料2 藤沢産利用推進店認定状況について
- ④ 資料3 地産地消アンケート自由記述欄の分類
- ⑤ 資料4 令和4年度藤沢市地産地消推進事業実行委員会事業報告書
- ⑥ 資料5 令和4年度藤沢市地産地消推進事業実行委員会決算書
- ⑦ 資料6 監査資料、通帳（写）
- ⑧ 資料7 令和5年度藤沢市地産地消推進事業実行委員会事業計画
- ⑨ 資料8 令和5年度藤沢市地産地消推進事業実行委員会収支予算内訳

となります。なお、机の上には閲覧用として、第5期藤沢市地産地消推進計画。当日配布として、「藤沢市地産地消推進事業実行委員会「3部会」名簿」、「定例記者会見資料」を置かせていただいております。資料について不足等ございませんでしょうか。

本日の会議につきましては、すべての議題を公開としておりますが、傍聴希望者はおりませんでした。

## 2 委嘱状の交付

竹中補佐

それでは、この度、委員の変更がございますので、ご紹介をさせていただきます。

さがみ農業協同組合藤沢地区運営委員会より選出していただいております高橋委員が退任され、神崎 勝男（かんざき かつお）様が委員となります。

さがみ農業協同組合わいわい市藤沢店より選出していただいております大矢委員が退任され、麻生 貴哉（あそう たかや）様が委員となります。

藤沢商工会議所より選出していただいております大嶋委員が退任され、斎藤 美之（さいとう よしゆき）様が委員となります。

藤沢市議会より選出していただいております、清水委員・石井委員が退任され、大矢 徹（おおや とおる）様・友田 宗也（ともだ そうや）様が委員となります。

藤沢市立小学校長会より選出していただいております森委員が退任され、加瀬 良一（かせ りょういち）様が委員となります。

この度、藤沢市地産地消推進協議会の委員としてご就任いただく皆様に、饗庭部長から委嘱状を交付させていただきたいと存じます。

それでは、お名前を読み上げさせていただきますので、どうぞその場でご起立をお願いいたします。

### (委 嘱 式)

- ①神崎 勝男（かんざき かつお）様
- ②斎藤 美之（さいとう よしゆき）様
- ③大矢 徹（おおや とおる）様
- ④友田 宗也（ともだ そうや）様
- ⑤加瀬 良一（かせ りょういち）様

※委嘱状の交付式 終了

続きまして、新たに委員になられた方に自己紹介をお願いしたいと思います。それでは、お願いいたします。

**神崎委員** この会議には初めて出席するんですけども、6年前に私の妻が出ていたっていうことを聞いて、いろいろ情報などを与えてもらって、それを元に良い意見が出ればなと思っておりますよろしくお願いいたします。

**斎藤委員** 改めましてこんにちは、藤沢商工会議所事務局長やっている斎藤と申します。よろしくお願いいたします。  
商工会議所としてですね、商業部会というのがありまして、飲食店それから農産物を扱っているお店等たくさんございますので、そういったところですね、上手く推進できればなというふうに考えておりますので、よろしくお願いいたします。

**大矢委員** 皆さんどうもお疲れ様です。5月に議会の方で常任委員会の委員、正副委員長が決まります。  
今回、建設経済常任委員会の委員長になりましたのでこの役割ということになりました。議会としては1年、また5月で人が変わってしまうので、継続性という意味では少し迷惑をかけてしまうと思うんですけども、どうぞよろしく申し上げます。

**友田委員** 同じく藤沢市議会建設経済常任委員会の副委員長の友田宗也です。何度かこちらの協議会の方にも参加をさせていただいている次第でございまして、皆様の活発な議論をしっかりと議会でも後押しができればなというふうに思っておりますので、どうぞよろしく申し上げます。  
この後、議会運営委員会に出席をするために、途中で退席をさせていただくこと、まずご了承いただければと思います。

**加瀬委員** 藤沢市立小学校長会から参りました加瀬と申します。  
令和3年度に一度、この委員会の方に出席させていただいておりました。日頃よりですね、給食での地産地消で大変お世話になっておりまして、誠にありがとうございます。本校は地産地消推進校の1校でもあります。また、いろいろとお世話になります。よろしく申し上げます。

**竹中補佐** ありがとうございます。

本協議会の副会長を務めていただいていた高橋委員が退任されました。後任の神崎委員に引き続き副会長をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。ご異議ありませんので、神崎委員よろしくお願いいたします。

それでは、議題に入らせていただきますが、本日の会議の記録を作成する関係上、発言内容を録音させていただいておりますので、あらかじめご了承をお願いいたします。ここからの進行につきましては、立石会長お願いいたします。

### 3 議 題

立石会長

それでは、議題に入るにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

日本大学生物資源科学部に勤めております立石と申します。昨年度よりこちらの委員を仰せつかっております。まだ1年目なんですけど、どうぞよろしくお願いいたします。

コロナも落ち着いてまいりまして、対面で皆さんとお会いできることを大変嬉しく思っております。今日もスムーズな進行ができますよう、どうぞご協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは「議題（1）第5期藤沢市地産地消推進計画の進捗状況について」、事務局から説明をお願いします。

河原崎

第5期藤沢市地産地消推進計画の進捗状況についてご説明をいたします。資料1をご覧ください。

資料の左の列から「第5期計画における政策の具体的な取り組み」、真ん中の列に「令和3年度の取り組み実績」、右側の列に「令和4年度の取り組み実績」を藤沢ブランドの創出や給食供給強化など計画に位置づけている6本の柱ごとに、まとめさせていただきました。

資料にボリュームがありますので、計画目標の達成状況を中心にご説明させていただきます。

1枚目、重点的に取り組む政策の1本目の柱「藤沢ブランドの創出」につきましては、神奈川ブランドへの登録件数、年1件増加を目標としておりますが、令和4年度につきましては、六会葱組合が出荷する「湘南土ネギ」が神奈川ブランドに新規登録され、藤沢産農水産物の神奈川ブランド登録数が19件となり、5年後の目標達成に向けて順調に推移しております。

1枚おめくりいただいて2枚目、重点的に取り組む政策の2本目の柱「藤沢産農水産物等の学校保育園給食供給強化」につきましては、裏面をご覧くださいまして、目標の一つ目。

「藤沢産米の使用数量」につきましては小学校や特別支援学校では、目標を大幅に超える29回49,120キロの藤沢産米を使用することができました。中学校においても5回1950キロを使用し、5年後の計画目標に近づいています。

一方保育園につきましては使用回数や数量を増やすことができませんでした。これは、保育園が使用している胚芽米での提供ができなかったことなどが原因等と考えております。今年度につきましては、新米の時期に藤沢産米を利用することについて担当課と調整してまいります。

目標の二つ目「学校給食における青果物の藤沢産使用割合」につきましては、令和4年度は12.3%となりまして、計画策定時点の令和2年度の17.7%と比較して使用割合が減少をてしまっています。これは、比較的多くの学校給食用農産物を納入していた生産者の方が、高齢を理由に離農してしまったことが影響していると分析しています。

続きまして3枚目ですね。重点的に取り組む政策の3本目の柱「地産地消の普及啓発、食育政策等との連携強化」につきましては、こちら裏面にお移りいただきまして、藤沢産ロゴマークの認知度を目標値としております。令和4年度につきましては40%となっておりまして、計画当初の36.4%から増加しており、5年後の目標値に近づいて順調に推移しております。今年度につきましては、後ほど実行委員会の中で詳しく説明をさせていただきたいと思っておりますが、ロゴマークの認知度向上に向けたキャンペーンなどを実施したいと考えております。

その他ですね、長期的に取り組む政策の令和4年度の取り組み実績等は、次のページ以降の資料の記載のとおりとなります。

一部ですね、令和4年度に取り組み実績がない事業などがございますので、第5期計画の計画期間内で事業が進捗するように今後も取り組みを進めて参りたいと考えています。説明は以上です。

立石会長

ただいま、事務局から説明がありましたが、ご質問やご意見などがございましたらお願いします。昨年の報告が中心なので、よろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。

それでは、「議題（2）藤沢産利用推進店認定状況について」、事務局から説明をお願いいたします。

相原

資料2の藤沢産利用推進店認定状況について、ご報告させていただきます。まず資料に入る前に、本日委員が変わられ

ていらっしゃる方もいらっしゃるので、藤沢産利用推進店がどういったものなのかを簡単に説明させていただければと思います。

藤沢産の食材を積極的に利用している飲食店ですとか小売店、あとはキッチンカー等を藤沢産利用推進店として市が認定しておりまして、地産地消の取り組みを市民に周知して、藤沢の農産物の理解促進を図るために取り組んでいるものになります。

本日は、今年度に入ってから認定状況について皆様にご報告させていただければと思います。それでは資料の方をご覧いただければと思うんですけども、1枚おめくりいただいて、1ページ目ですね。「藤沢産利用推進店の認定について」ということで、こちら藤沢産利用推進店認定要綱というものに定められている規定に基づきまして、今年度審査会を下記2の審査日程のところに載っております内容で審議を行いましたのでご報告させていただきます。

2023年5月12日に審査会を開きました。利用推進店は、二つのランクに分けられておりまして、ひとキュンとふたキュンとわかれているんですけども、ひとキュンが常時1品以上藤沢産の農産物を使用している店舗に対して認定をするような形になりまして。ふたキュンという形でもう一つ上のランクがあるんですけども、こちらはもう少し基準が高くなっておりまして、常時3品以上、かつ年10品目以上、もしくは常時5割以上のものを使用しているという形の規定がございます。今回につきましては、ひとキュンの申請が1店舗ございました。

詳細につきましては店舗名が「ヘルシーバイビューティースタンド」というお店で事務所は大和市に構えられている方なんですが、実際に藤沢のイベントに出展される機会が多いということで今回申請に至ったというふうに伺っております。店舗の業態は移動販売店ということで、キッチンカーの業態になっております。基準としては常時1品目以上使われていて、年間品目も1品以上という形になっております。

具体的にどういったものが使われているかといいますと、「かざみ草」という梅酒を使用されているそうです。こちらの梅酒なんですけれども、長後で生産されている十郎という梅を使用して作られている梅酒になりまして、仕入れ先が、「藤沢とちぎや」とさんという酒屋さんから購入をされているということになります。こちら加工品のみの使用になるんですけども、現在の要綱では特段加工品のみでは不可という要綱を設けていないということと、あとは現状既に菊芋の青

汁のみで認定を受けている利用推進店がございましたので、今回につきましてこちらの内容を審議しまして認定という形になりました。しかしながらですね、審査会の協議中にもですね、加工品1品だとどうなんだろうかというお話があったりですとか、あとは全体的に見て一次生産者の所得向上にはたしてこれで繋がっているのかって、ちょっと疑問に思う部分もございましたので、今後要綱の改正等でもっと地産地消に重点的に取り組んでいて、かつ一次生産者のためになっているような店舗にもうちょっとスポットを当てたような要綱の見直しですとか、そういった部分も検討していてもいいのかなっていうふうには事務局としては考えておりますので、この辺りの認定の基準も今後こういった方針にしていくかっていうのも考えていきたいなとは思っております。

今回の認定のご報告はそういった形になりまして、2ページに移っていただいて、3で「登録店舗数および廃止について」ということで今回1店舗加わりましたので、一番右側に令和5年度の審査会終了時点の列を足ささせていただきます。審査会開く前は全体で91店舗、内ひとキュンが58店舗ふたキュンが33店舗という内訳でしたが、今回の登録に際しまして下の方を一番下まで降りていただいて、現状が全体で92店舗内ひとキュンが59店舗、ふたキュンが33店舗という形の割合になっております。

ページおめくりいただいて3ページ目には新規店舗の推移が掲載されておりますのでこちらも、後ほどご覧いただければと思います。

4ページ目に移りまして登録店舗数の一覧、こちらに記載がございます。4ページから7ページまで、全ての店舗をお載せしております。今回の新しく認定された店舗は92番目に掲載をしております。

資料は以上になるんですけれども、毎年海の家にも利用推進店の登録についてご案内をお出ししております、海の家を開いている日数全ての営業日で藤沢産の農産物取り扱いをしているような店舗につきましては、その海の家が開いている期間のみ認定という形も毎年行っておりますので、5月26日に海水浴場組合様通じて依頼を出させていただいております。一度締め切りを6月15日に設けさせていただいております。この期限を過ぎましても随時受付する予定ではあるんですけれども、事務の作業の都合上一度6月15日のご案内をお送りしているところでございます。

立石会長

ただいま、事務局から説明がありました。ご質問やご意

見などがございましたらお願いします。大丈夫でしょうか。それでは次に、「議題（3）その他」になりますが、何かありますでしょうか。

河原崎

資料3をご覧いただいてもよろしいでしょうか。

こちらにつきましては、前回の協議会でいただいたご意見を踏まえまして、令和4年度に実施した地産地消アンケートの自由記述欄をグループごとに分けたものになります。こちらのアンケートに基づいて、例えば令和4年度は量販店における藤沢産コーナーの充実といった事業に取り組んだりさせていただいていきますので、今後はこのグループ分け結果を踏まえて、例えば今年度実施するマルシェなどでお越しいただいたお客さんに参加していただくようなイベントを企画してその中でフィードバックするなどといった、活用を検討させていただきたいと思っております。

現時点ではまずこのようなグループ分け結果になりましたという形の資料提供になります。

立石会長

はい、ありがとうございます。グループ分けのほうもありがとうございます。前回の指摘に基づいて実施したということですね。お疲れ様でしたということで、こちらよろしいでしょうか。

他にございますでしょうか。特段ないようですので一旦これをもちまして、藤沢市地産地消推進協議会の本日の予定した議題は全て終了ということで、進行を事務局にお返しいたします。よろしくお願いします。

竹中補佐

立石会長ありがとうございます。これをもちまして第54回藤沢市地産地消推進協議会を閉会とさせていただきます。

### **令和5年度第1回藤沢市地産地消推進事業実行委員会**

竹中補佐

引き続き、令和5年度第1回藤沢市地産地消推進事業実行委員会に移らせていただきたいと思います。

地産地消推進協議会同様、副委員長の高橋委員が退任されましたので、後任の神崎委員に引き続き副委員長をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

ありがとうございます。ご異議ございませんでしたので、神崎委員、どうぞよろしくお願いたします。

また、藤沢市地産地消推進事業実行委員会には三つの部会を設けておりまして、先ほど机上の方に置かせていただい



た、名簿にも記載がございますが、新任委員の方におかれましては、前任者の所属していた部会に入っていたいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

また、ここからの進行につきましては立石委員長にお願いしたいと思います。

立石委員長、どうぞよろしく願いいたします。

## 1 開会

立石委員長

引き続き、令和5年度第1回藤沢市地産地消推進事業実行委員会に移らせていただきたいと思います。

## 2 議題

立石委員長

それでは、「議題（1）令和4年度事業報告及び収支決算報告について」、事務局から説明をお願いします。

河原崎

お手元に資料4をご用意ください。

令和4年度の実行委員会の事業報告につきましては、3月27日に開催した実行委員会において途中経過を説明させていただいておりますので、今回につきましてはその後の進捗状況を中心にご説明をさせていただければと思います。スライドの右上の数字の番号でご案内します。まず4枚目のスライドをご覧ください。右上に4と書かれているスライドになります。

未利用魚を活用した加工品の開発支援および学校給食での活用検討につきましては、小サバを学校給食で活用することと小サバを使った加工品の試作を予定しておりましたが、年度内に残念ながら漁獲できなかつたため執行額は、0円となりました。続いてスライドの5枚目をご覧ください。

実行委員会で生産経費の一部を支援した酒米については、藤沢産100%の日本酒として熊澤酒造様に日本酒を仕込んでいただきまして、今月の21日に発売することになりました。市内の地酒専門店4店舗で発売されますので、お酒飲める方はぜひお買い求めいただければと思います。本日は当日配布資料として記者発表資料を机上に配布させていただいておりますので、後ほどそちらもご参照いただければと思います。発売日や値段、販売店舗など詳細を記載させていただいております。続いて少し飛びまして、12番のスライドになります。

昨年度藤沢産利用推進店PR用の食べ歩きマップを作成したところでございますが、前回の実行委員会の中で鉄道駅への配布についてご意見をいただきました。事務局で小田急電鉄様に、ご相談したところ快くご承諾をいただきまして、藤沢

駅、鵜沼海岸駅、片瀬江ノ島駅の3駅に配架していただけることになりまして、既に先日マップをお届けしておりますので、今後配架がされるものと考えております。スライドの説明は以上になりまして、続きまして資料5をご覧ください。

令和4年度の実行委員会の収支決算書になります。先ほどご説明したとおり、小サバの活用ができなかったことに加えまして、PR用動画の作成を見送った関係で執行残が生じておりましたので、前年度から繰り越した8万7,922円を除いた37万3,927円を藤沢市の会計に戻す手続きをさせていただきました。裏面には内訳の詳細を記載させていただいております。こちらの決算書につきましては、本実行委員会の山田監事に、資料6にお配りした通り、監査をいただいております。裏面には、昨年度の取引履歴として通帳の写しをつけさせていただきました。

立石委員長

はい、ありがとうございます。事務局から、令和4年度の事業報告および収支決算報告について説明がございましたが、ご質問ご意見等ございますでしょうか。

では特にないようですので、続きまして、2番目の令和5年度の方ですね、令和5年度の事業計画案および収支予算案について、資料7、8について事務局から説明をお願いいたします。

河原崎

資料7をお手元にご用意ください。こちらにつきましては前回の実行委員会でいただいたご意見を踏まえまして、事務局で作成した今年度の藤沢市地産地消推進事業実行委員会の事業計画案になります。各スライドの右上のところに番号が振ってあるのと、あわせてその下に四角囲みで予算額それから計画上の目標のどこに位置づけた事業なのかというところ。それから年度単位で目標を設定できるものについては設定をいたしましたので、その目標の内容というのを記載しております。まずスライドの2番からご説明をさせていただきます。

令和4年度に引き続きまして、藤沢ブランドの創出に向けて新たな一次製品の創出に向けた農産物の試作支援を行いたいと考えております。試作支援に当たってはSDGsの視点を念頭に、飲食物+αの価値を創出し、消費者の方に選んでいただけるような一次製品の創出を目指したいと考えております。予算額は前年度と同額の10万円。年度目標を、計画と同じ目標になりますが、神奈川ブランドへの登録一件とさせていただきます。次の事業の説明に移ります。スライド3番

になります。

昨年度に引き続き、未利用魚を活用した加工品の開発支援や学校給食での活用の検討を行いたいと考えています。昨年度については、活用する魚をサバに限定したことによって漁獲量の減少という影響を大きく受けてしまって、事業を実施することができませんでした。今年度については、その反省を踏まえて、比較的漁獲量の安定しているイワシや磯焼けの原因として駆除を行っているような魚、こういったものをすり身に加工することによって、活用することを検討したいと考えております。予算額については前年度から5万円減少した15万円で、目標を新たに開発した加工品の学校給食での活用を目標にさせていただきました。次の事業の説明に行きます。スライドの4番目になります。

こちら昨年度に引き続き、藤沢産農産物を利用した加工品の開発支援を行いたいと考えております。例といたしましては前回の実行委員会で、会場にお越しいただいた方にサンプルをお配りしましたが、試作を行ったサツマイモの加工品開発などを引き続き支援させていただいて、今年度の目標としては、販売までを目標にしたいと考えております。予算額は前年度の実績を踏まえまして、10万円増加の20万円とさせていただきました。続いてスライド5番のご説明をさせていただきます。

こちらは新しい事業をとりなします。恒常的に販売価格が生産費を下回っている藤沢産のお米について、水田の耕作放棄に伴う多面的機能喪失を防ぐために、特定給食施設で藤沢産米の利用促進を図りたいと考えております。具体的な内容として、藤沢産米の利用に前向きな施設に対して、サンプルを提供させていただいて、藤沢米の美味しさを実感してもらおう。実際、藤沢産米を給食として提供していただく際には、食堂などにおいてパネルの展示などをして、地産地消のPRを合わせて実施したいと考えております。予算額は20万円で、目標は特定給食施設で藤沢産のお米を60t利用するという目標をしております。続きましてスライドの6番になります。

こちらについては、数少ない畜産のPRの場として、小学校でのフリフリバター体験事業を継続したいと考えています。材料費等が値上げしていますので予算額は1万円増やした6万円となっています。また、昨年度から取り組みを開始した保育園児と生産者の交流については、予算額を倍増し実施園を増やし、生産者と交流した保育園児の数を昨年度の2倍にすることを目標にいたしました。内容につきましても、昨年度

の反省を踏まえまして、保育園児にもわかりやすい内容に見直しをした上で、実施園を増やして、今年度は実施したいと考えています。次にスライドの7番ご覧ください。

昨年度に引き続き、有機農業を知っていただく機会として、オーガニックマルシェなど地産地消のイベントを開催したいと考えております。前回の実行委員会でいただいたご意見を踏まえまして、マルシェでは加工品の販売であるとか、試食などの実施も検討したいと考えておりまして、目標は来場者数を、前年比の120%としております。続きましてスライドの8番になります。

藤沢産のお花をPRする機会として、花育体験イベントやPR用の花卉の購入を継続したいと考えております。PR用のお花につきましては、これまで藤沢市役所本庁舎での展示に限られておりましたので、今年度については、市役所本庁舎以外での展示もしていきたいと考えております。委員の皆様のご所属している機関で、展示場所の候補などがあれば、ぜひご意見いただければと考えております。スライドの9番をご覧ください。

こちら前回の実行委員会でいただいたご意見を参考に考えた新しい事業になりまして、藤沢産の認知度向上を図るキャンペーンを、ロゴマークシールとSNSを活用して実施したいと考えております。具体的には、藤沢産ロゴマークシールの貼られた農産物を皆さんに見つけていただいて、それをSNSに投稿していただいて、特定のハッシュタグなどをつけていただくことによって、投稿をしていただいた方を特定して、抽選で藤沢産の農産物や加工品をプレゼントするようなキャンペーンを実施して、藤沢産の農水産物やロゴマークの認知度の向上を図りたいと考えております。予算額は、プレゼント代として5万円。目標値は、ロゴマークの認知度を地産地消推進計画の数値目標に基づき、44.56%と設定させていただきました。続いてスライドの10枚目になります。

昨年度予算の執行ができなかった動画やPVの作成については、費用対効果に疑問があったため実施を見送ったところですが、引き続き動画による発信というのは有効な手段と考えておりますので、実施内容を見直した上で、今年度も実施を検討したいと考えております。見直した内容としましては、自分たちでできる撮影などは事務局職員が行うなどして、コストの削減を図った上で、我々の業務環境では、実施が難しい動画の編集作業など、そういった部分を委託して実施したいと考えております。作成する動画もあまり長いものよりも、昨今の傾向としては短いものの方が目に留めてい

ただ機会が多いのかなと思っておりまして、ショート動画を1本2本ではなくて複数作成していきたいと考えておりまして、内容としては、例えば藤沢産利用推進店のPRなどを考えております。利用推進店については、認定されることのメリットなどが、これまでも課題になっていましたので、そういった部分の対応策にもなるんじゃないかなというふうに考えております。予算額は10万円。目標は動画を10本投稿し、再生回数を合計で1万回にするということを数値目標とさせていただきます。スライドの説明は次で最後になります。11番ですね。

昨年度、内容を更新して、英語版も作成した食べ歩きマップについて非常に需要がありますので、継続配布できるように、増刷したいと考えております。これまで説明した事業の収支の予算の詳細につきましては、資料8の予算書案のとおりとなっています。

立石委員長

はい、ありがとうございました。事務局から今年度の事業計画案と収支予算案について説明がございました。これについてご質問やご意見などがございましたら、お願いいたします。林委員、お願いします。

林委員

スライド8の体験イベントに関してなんですが、こちらのお花のイベントっていうのはずっと継続して、これまでもしてきたことだと思うんですけども。展示しPRを行いますっていうところがあるわりに、右下の写真の展示の様子っていうところが、床に置いているだけで、デザイン性が何もなくて見ても魅力を感じないかなっていうのは正直思うんですね。やはり綺麗なお花なので、もう少しデザイン性を豊かに、先ほどのどこか飾るところでおすすめはありませんかみたいなお話あったと思うんですけど、そこも含めてなんですが、展示の仕方っていうところに力を入れると、いいのかなっていうふうに思います。ちょっと規模は違うんですけど、横浜のフラワーガーデンっていうんですかね、イベントがあるんですけど、2万株の苗をすごく綺麗に展示して、お花好きの人、あとペットを飼ってる方が、それを背景に写真を撮りに来たりとか、あとお子さん連れの方、すごい動員があるイベントなんですけれども、規模は違うにしてもこういったものを参考にしながら、対象が体験に当たった方達だけではもったいないので、やっぱりフォトブースみたいなものをしっかり作って、例えばその体験の日にはふじキュンを呼んで、ふじキュンも来るから、そこで写真撮りたいよねみたいな、そ

ういう空間を例えば作るっていうことをしていくと、もうちょっと認知度が上がるのかなってというのは、このイベントに関しては思いました。せつかくやるなら、そういった方向からも考えられるといいのかなっていうのを思いました。

あと同時に、展示だけではなくて、例えば、可能であれば、苗の販売ですとか、お花の植木切花とか、売れるのであればそういったものも一緒に売る。お花も買えますよっていうふうにすると、多分魅力を感じてもらえるんじゃないのかなと思います。以上です。

立石委員長

はいありがとうございます。事務局から何かありますか。

及川課長

ご提案ありがとうございます。この写真見ると確かにデザイン性が無いと思うんですけども。12月にですねさがみ農協藤沢市花卉温室部の方から花の贈呈が毎年あるんですけども。そのときは、庁舎内に展示をさせていただいておりまして、もう少しデザイン性も豊かにやらせていただいております。それから横浜のガーデンネックレスのようなのを参考にといいことでしたので、花育のイベントを毎年やってるんですが、そのときに一般の方が通られて、この苗は売ってるのっていうことも確かに聞かれるので、その販売等についても今後検討していきたいというふうに考えております。

相原

事務局の相原です。花育体験のイベントを担当しておりますので、少し補足させていただきます。フォトブースのようなコーナーがあればというお話だったんですけども。昨年ですとこのお写真の中には写り込んでいないんですけども、ふじキュンの人形とお花と一緒に撮れるようなちょっとしたコーナーは設定しておりました。ふじキュン本体がいると確かにさらに盛り上がるのかなと思いますので、貸し出し状況ですとか、当日かけられる事務局の人数等も制約がございますので、今いただいたご意見踏まえながらお子様に楽しんでいただけるように考えていきたいなと思います。

あとですね。この体験が終わった後に実際に苗の販売等も行っておりましたので、親御さんが後ろで待ってらっしゃる方とかもいらっしゃって、終わった後に追加で購入されてるような方がいらっしゃったりですとか、あとは毎週水曜日金曜日にサンセットマルシェにですね、例えば母の日ですとかクリスマスのタイミングですとか、季節のタイミングでご協力はいただいているような形ですので、今後も他の花農家さんと連携して、花卉のPRの方も行っていきたいなと思います。

立石委員長

はい、ありがとうございます。3枚目の写真があまり良くなかったってことで。他にございますでしょうか？お願いします。

葉山委員

藤沢市漁協の組合長葉山でございます。去年はあまり会議に出られなくて申し訳ございませんでした。魚の活用なんですけど、資料7の3ですね。神奈川県では、うちあたりはしらすなんかも獲ってますね。茨城県とか千葉県は、カタクチイワシなんかも獲れるんですけど、神奈川県は獲れないんですよ。

そうしますとね、定置網もなかなかカタクチイワシとかそういうものが獲れないということなんですけど。まき網を横須賀の猿島のところでやっておりますので、そのカタクチイワシを獲って加工しておけばいいんですけど。煮干なんかも最盛期っていうものがありまして、油のある時にカタクチイワシを取って煮て乾かして煮干しにしますと、真っ赤になって、あまり良い出汁が出なくて、秋の10月頃に獲ったやつなら、一番いいカタクチイワシで出汁が取れるんですよ。そんなことで、こういう煮干しっていうものは時期があって、一番いいときに獲って加工して置いて、給食なんかに出汁を取ってもらえれば本当に素晴らしい、いい出汁が取れるんですよ。そんなことを考えますと、年中煮干しを作って加工できるってことはありませんので、そういうことも一つ考えて、やった方がいいじゃないかと思います。やっぱり時期によって、とっておいて給食に出した方がいいんじゃないかと私は思ってるんですけど、市の考え方、水産課の考え方。どう思ってますかね。

水産業というのは本当に状況が衰退してまして、温暖化がありまして、海の状況がものすごく変わっております。そんなことで思うようにいきませんので、やっぱり時期に来て、獲って加工しておいてそれを給食に出すと、そういうことをしていったいいんじゃないかと私なりに思ってますので、一つよろしく願いいたします。

落合

昨年度は浜野水産さんのご協力をいただきまして、カタクチイワシを煮干しに加工して、学校給食に提供を行いまして、地産地消の実行委員会の予算を使って支援を行いました。今年度も学校給食課からは、同じようにカタクチイワシの煮干しの提供、学校給食で行っていくということで回答いただいております。

適切な時期とか、脂がのっているとかそういった情報につきましては知識不足の部分はあったんですが、今後ですね浜野水産さんにご協力をいただきながら学校給食に煮干しを提供できるように環境を整えていきたいなと思っております。

葉山委員

今お話ししたことを聞いておりますと、浜野水産もシラス一筋だけでやっておりますので、カタクチイワシは獲れることには獲れるんですよ。今、神奈川県ではしらす漁というのは、しらすだけしか獲っちゃダメなんですよ。定置網とか巻き網とかそういったものから獲ったものはいいですけど、しらすのみだと必ずカタクチイワシが獲れるんですよ。上手にやれば必ず獲れる。獲れるんだけど神奈川県で許可をくれないんですよ。そうしますと許可をくれないものを給食に出したとしたら大変なことになっちゃうと思ってね。それを今お話ししたわけなんです。定置網だけであればいいんですけどカタクチイワシのちょっと細かいやつはなかなか獲れないんですよ、定置網は。

だから先程言った、巻き網で獲ったやつをうちの方で加工してるんですよ。相模湾で獲ったやつだから加工してそれを蓄積して直々に引き取ってもらって、それを今度は給食に販売するという事なら間違いありませんので。漁業っていうものは県の方からのお墨付きでやっておりますので、それを間違えると罰金を科せられて、その上に全部船やらなんでも全部没収されちゃう。そんな風になっておりますので、給食という安全性を高くきちんとやらないといけませんので、それは藤沢市農業水産課でもご承知した方がいいと思います。よろしくお願いします。

立石委員長

そうしましたらカタクチイワシの入手方法というか、漁の仕方については確認いただくことで、しらすと一緒に獲ってるかどうかというのを確認すればいいと思いますので、役所の方でご確認いただければと思います。正式な獲り方ということでよろしいでしょうか？それではよろしく願いいたします。

他には、ありますでしょうか？特によろしいでしょうか？これが今年度の事業計画案にやっていますけど、こちら事務局より提案ありました事業計画案及びこの収支予算案については、ご承認いただけるということでよろしいでしょうか？はい、ありがとうございます。では承認ということで、資料の方から、(案)という文字を削除していただきまして、この事業計画書と予算書に基づいて、今年度の事業を進めてい



ただくということになります。

最後ですかね、次が議題のその他になりますが全体を通しまして何かございますでしょうか？よろしいでしょうか？そうしますとちょっと早いんですが、本日の議題はこれで全て終了いたしました。非常に会議の方を円滑に進行出来ましたので、お礼申し上げます。進行の方は事務局にお返ししたいと思います。よろしくお願ひします。

どうもありがとうございました。

竹中補佐 立石委員長ありがとうございました。最後にですね、饗庭経済部長よりご挨拶をさせていただきたいと思ひます。

饗庭部長 皆さん長時間にわたりご審議いただきましてありがとうございます。今日はちょっと短時間でしたけども、先週末は酷いお天気で、花卉農家さんも地域によってはですね、育てたお花が全滅というような、ニュースも流れておりました。

大変自然環境に左右される事業者の皆さんなので、燃料の高騰とか物価高の影響も大変受けてらっしゃるってことです。今、国と県と市の方でも、支援策についてそれぞれ補正予算を組んで、対応しているところでございますけれども、今回議論していただきました地産地消の部分につきましては、何か新しい取り組みで、皆さんに注目をいただいて、付加価値を高めていくっていうのが、一番の近道なんですけども今日ご意見の中にもそう簡単じゃないよ、コンプライアンスとか法令遵守を念頭に取り組みを進めさせていただきまして、今後も付加価値が高まるように取り組んでいきたいと思っております。

先ほどご紹介した、藤沢産米100%の日本酒、6月21日発売開始でございます。ぜひ委員の皆様にはご賞味いただきまして、感想もいただけたら。幸いです。本日はどうもありがとうございました。

### 3 閉 会

竹中補佐 それでは、以上をもちまして令和5年度第1回藤沢市地産地消推進事業実行委員会を閉会といたします。本日は、長時間に渡りありがとうございました。

協議会委員の任期は今年の11月23日となっております。改めて、市民公募や各団体への推薦依頼をさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。

なお、本日、事務局でご用意させていただきました藤沢市地産地消推進計画、右上に会議用のテプラが貼ってあるものにつきましては、返却となりますので、机の上にそのまま置いておいていただきますようお願いいたします。

終 了